

中小企業景気動向調査レポート (調査期間:平成29年12月1日～7日)

(平成29年10月～12月実績、平成30年1～3月予想)

平成29年12月発行
西尾信用金庫
企業支援部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
125	26	34	49	39	21	294

<全体の景況>

当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/09	4.1	-3.8	-8.8	4.1	-5.1	0.0	0.3
29/12見込	9.7	0.0	2.9	-4.2	-5.3	0.0	3.1
30/3予想	12.1	-3.8	2.9	4.1	-7.7	-5.0	4.5

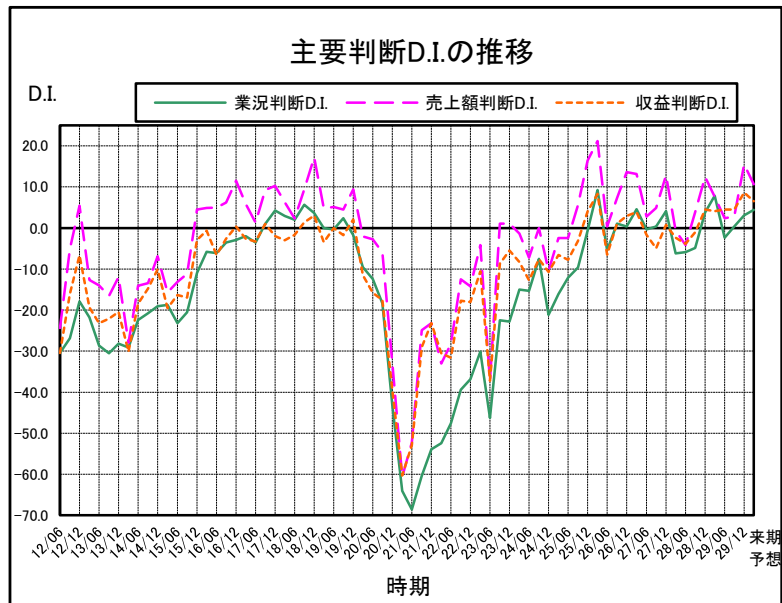
当期売上額判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/09	1.6	3.8	5.9	0.0	7.7	0.0	2.7
29/12見込	18.0	15.4	17.6	12.2	15.4	4.8	15.5
30/3予想	16.4	7.7	17.6	4.1	2.6	-14.3	10.7

当期収益判断D.I.

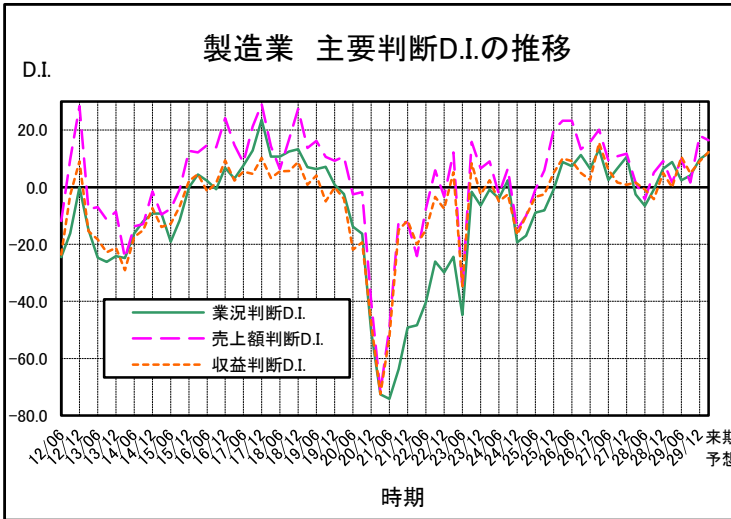
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/09	4.9	7.7	2.9	4.1	2.6	4.8	4.5
29/12見込	9.0	0.0	17.6	8.2	7.7	4.8	8.6
30/3予想	12.3	7.7	17.6	-4.1	-2.6	-4.8	6.5

当期業況判断D. I. は3.1(前期比+2.8)、当期売上額判断D. I. は15.5(同+12.8)、当期収益判断D. I. は8.6(同+4.1)と経営者マインドは大幅改善を見込む。来期については、業況判断D. I. が4.5(当期比+1.4)と景況感は引き続き改善が予想される。しかし、売上額判断D. I. が10.7(同-4.8)、収益判断D. I. は6.5(同-2.1)と業況低下が予想される。各種D. I. が良化しているが、人手不足等への対応がさらなる良化に向けての課題となっている。



*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

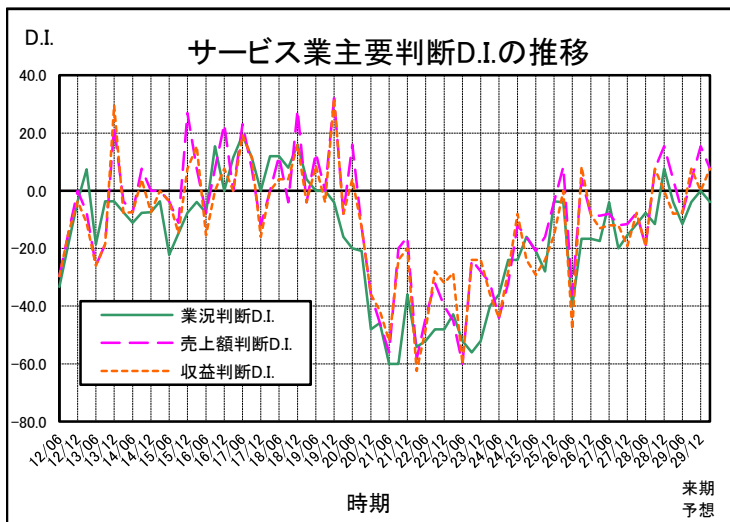
< 業種別 >



製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
29/09	4.1	1.6	4.9
29/12見込	9.7	18.0	9.0
30/3予想	12.1	16.4	12.3

< 製造業 >

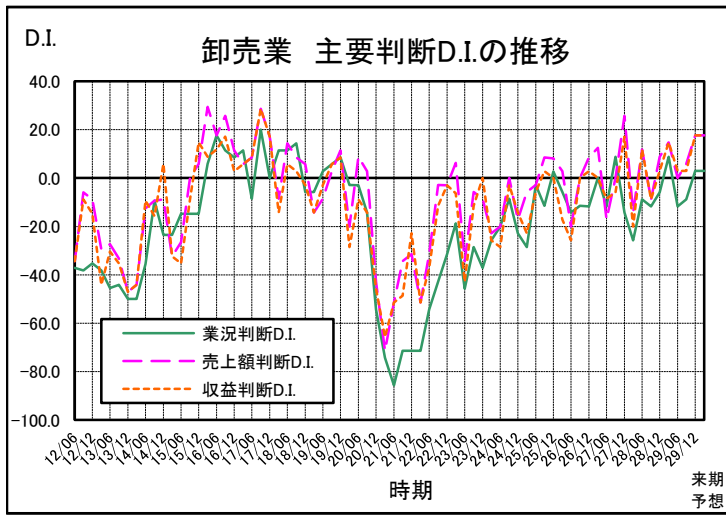
当期業況判断D. I. は9.7(前期比+5.6)、当期売上額判断D. I. は18.0(同+16.4)、当期収益判断D. I. は9.0(同+4.1)となった。大型補正予算による企業の設備投資の増加や自動車販売台数の好調な推移が見込まれることを背景に経営者マインドは大幅改善となった。一方、来期については、業況判断D. I. は12.1(当期比+2.4)、売上額判断D. I. は16.4(同-1.6)、収益判断D. I. は12.3(同+3.3)と売上は若干低下するものの、全体としては引き続き改善が予想される。また、人出不足D. I. は▲16.4(同±0.0)となっており、人手不足が深刻である。



サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
29/09	-3.8	3.8	7.7
29/12見込	0.0	15.4	0.0
30/3予想	-3.8	7.7	7.7

< サービス業 >

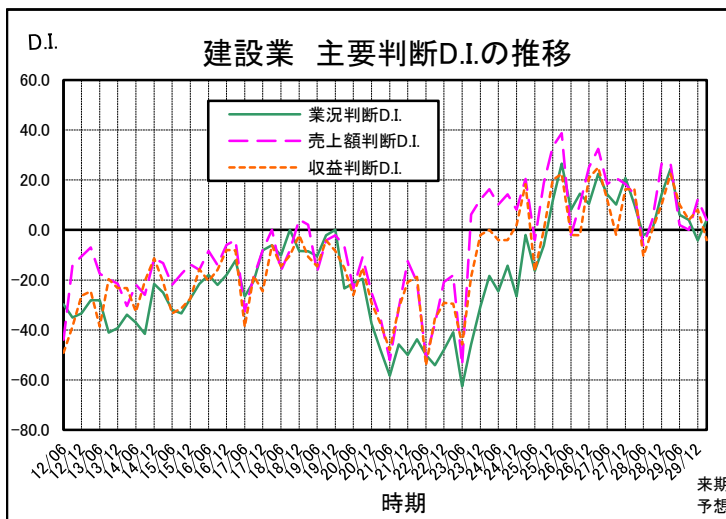
当期業況判断D.I.は0.0(前期比+3.8)と景況感は大幅に改善となり、当期売上額判断D.I.も15.4(同+11.6)と、売上の大幅改善を見込む。しかし当期収益判断D.I.は0.0(同-7.7)と大幅低下が見込まれる。当面の重点経営施策として30.8%の企業が”経費を節減する”を挙げており、コストカットに注力することで収益増加を目指す企業が多い。



卸売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
29/09	-8.8	5.9	2.9
29/12見込	2.9	17.6	17.6
30/3予想	2.9	17.6	17.6

<卸売業>

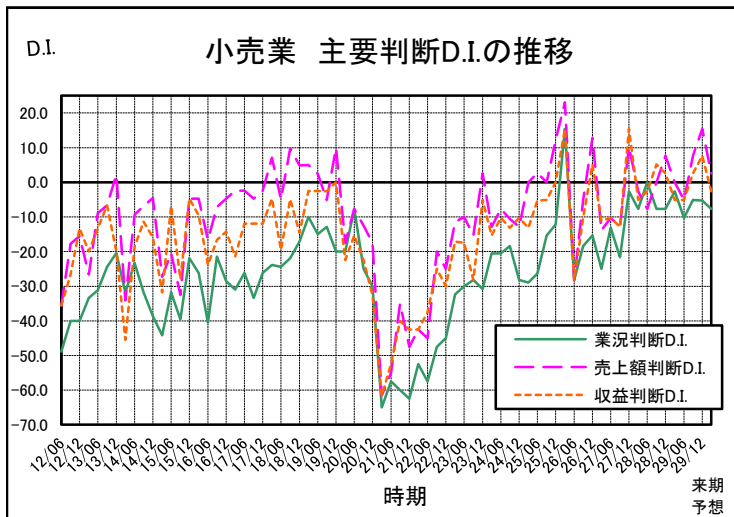
当期業況判断D.I.は2.9(前期比+11.7)、当期売上額判断D.I.は17.6(同+11.7)、また当期収益判断D.I.は17.6(同+14.7)と、経営者マインドの大幅改善が見込まれる。一方来期は業況判断D.I.は2.9(当期比±0.0)、売上額判断D.I.は17.6(同±0.0)、収益判断D.I.は17.6(同±0.0)と、いずれも横ばいの推移が予想される。



建設業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
29/09	4.1	0.0	4.1
29/12見込	-4.2	12.2	8.2
30/3予想	4.1	4.1	-4.1

<建設業>

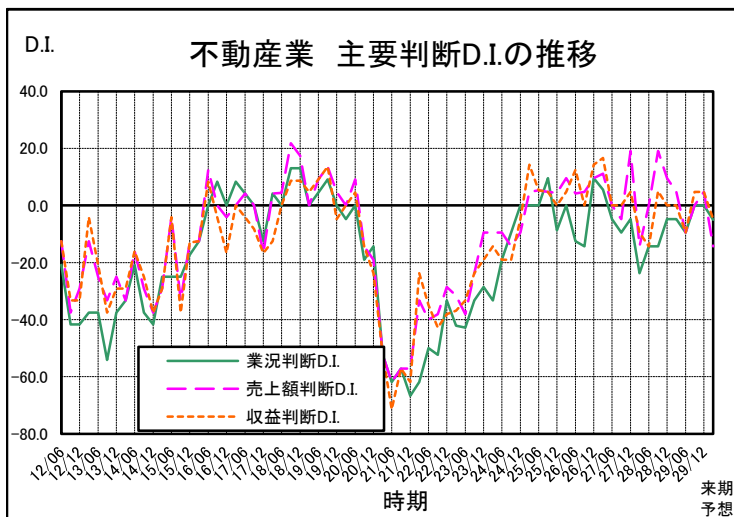
当期業況判断D.I.は▲4.2(前期比-8.3)となり、景況感は大幅低下が見込まれる。しかし、当期売上額判断D.I.は12.2(同+12.2)、当期収益判断D.I.は8.2(同+4.1)と前期比プラスとなり、業況は改善が見込まれる。一方、来期は業況判断D.I.は4.1(当期比+8.3)と改善が予想されるものの、売上額判断D.I.は4.1(同-8.1)、収益判断D.I.は▲4.1(同-12.3)と低下が予想される。また、人手不足D.I.は▲24.5と全業種で最も低い。当面の重点経営施策として”人材を確保する”を挙げる企業が57.1%と半数を超えており、人材確保が引き続き課題となっている。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/09	-5.1	7.7	2.6
29/12見込	-5.3	15.4	7.7
30/3予想	-7.7	2.6	-2.6

<小売業>

当期業況判断D.I.は▲5.3(前期比-0.2)と景況感はやや低下が見込まれるものの、冬のボーナス時期を迎え、当期売上額判断D.I.は15.4(同+7.7)、また当期収益判断D.I.は7.7(同+5.1)と業況は大幅改善が見込まれる。しかし、来期は一転して全項目で低下が予想される。原材料費、人件費等の高騰や消費者の根強い節約志向により経営者マインドが悪化している。



不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/09	0.0	0.0	4.8
29/12見込	0.0	4.8	4.8
30/3予想	-5.0	-14.3	-4.8

<不動産業>

当期業況判断D.I.は0.0(前期比±0.0)、当期売上額判断D.I.は4.8(同+4.8)、当期収益判断D.I.は4.8(同±0.0)とやや改善している。しかし、来期については経営者マインドは悪化し、全項目で大幅に低下することが予想される。45.0%の企業が経営上の問題点として“商品物件の不足”を挙げており、顧客のニーズに合う物件を確保することで増収増益を目指す企業が多い。